

総務・企画常任委員会県内行政調査

1 調査日 令和元年7月26日（金）

2 調査の概要

（1）滋賀県消防学校（東近江市神郷町314番地）

滋賀県消防学校は、消防職員、消防団員、その他消防関係職員に対する教育訓練の実施を目的として、昭和38年4月に設置され、昭和60年4月に現在地に移転したが、これまで、その時々時代の要請に応じた初任教育や基礎教育をはじめ、専科教育、幹部教育、特別教育等々多くの教育、訓練を実施し、消防職団員の育成に尽力してきた。

一方、近年、複雑多様化する火災や事故、さらに、全国各地で国民の生命、身体および財産を脅かす大規模地震や集中豪雨等の自然災害が相次いで発生し、県民の安全、安心への関心の高まりとともに、高齢化をはじめとする社会環境の変化や都市化の進展により、消防機関に寄せられる期待もますます大きくなっている。

また、併せて、今後想定される各種災害に備えた教育や自主防災組織の防災力強化のための指導者養成など、これまで以上に質の高い防災を主眼にした教育が求められている。

については、今後の参考とするため、同校の施設の概要や訓練の状況等について調査を行うとともに、当日実施の初任科生への教育訓練現場の視察を行い、また、初任科生の方々と県民参画委員会を実施し、消防学校の教育の充実や卒業後の夢や希望について、意見交換を行った。



(2) 滋賀県防災航空隊 日野基地（蒲生郡日野町北脇214-71）

滋賀県防災航空隊は平成8年4月に発足し、日野基地において防災ヘリコプターの運用が行われている。

防災航空隊においては、救急患者搬送等の救急活動や、救助活動、火災防御活動、また、災害が発生した場合の災害応急対策活動等の各種業務が行われており、平成23年度には防災ヘリコプターが更新され、平成24年1月から新たなヘリコプターにより運航がなされている。

については、今後の参考とするため、防災航空隊で行われている各種業務や防災ヘリコプターの運用状況について調査を行った。

